

令和7年度「DXステップアップ研修」の実施について

1 要旨・目的

全県的なDXを推進するため、デジタルツールの活用方法等を段階的に学ぶ機会を提供し、受講者のDXの取組に向けた主体的な学習や検討、自社での働きかけ等の具体的な行動を促すことを目的とする「DXステップアップ研修」を新たに実施する。

2 現状・背景

県が行ったDXに関する実態調査によると、県内の民間事業者等のうち、約5割がデジタル技術の活用を含むビジネス変革の必要性を感じているものの、実際に取り組んでいる割合は約3割に留まっている。

また、必要性を感じていない理由として、「具体的な効果がイメージできない」「デジタルに対して苦手意識がある」等が挙げられている。

3 研修概要

(1) 対象者

県内の企業、団体等に勤務している方

※特に、DXの具体的な効果がイメージできない方やデジタルに対して苦手意識がある方、DXの必要性を感じているが取り組めていない方

(2) 研修内容

参加者のデジタルリテラシーやニーズを踏まえ、レベル分けした4つのコースから段階的に学べる構成としている。

コース		主な研修テーマ
コース1	はじめてのデジタル活用 (全3回)	デジタル活用の身近な事例 (アプリ、キャッシュレス等) について 等
コース2	デジタルツールを活用した業務改善 (全3回)	WEB会議の進め方と活用方法について 等
コース3	デジタルツールの活用によるバックオフィスの業務効率化 (全3回)	バックオフィス業務 (会計、給与、勤怠管理等) のデジタル化について 等
コース4	デジタル活用による自社の営業・在庫管理業務等の効率化 (全4回)	フロント業務 (受発注や販売管理、営業支援、配送管理等) のデジタル化について 等

※各コース内容の詳細は別紙のとおり

(3) 日程等

項目	内容
日程	令和7年7月17日(木)～10月29日(水)(詳細は別紙のとおり) ※各回アーカイブ配信を予定
募集開始日	コース1: 令和7年5月26日(月)から申込受付開始予定 コース2～4: 広島県DX推進コミュニティHPで随時案内
開催方法	オンライン
研修時間	各回60分(15時00分～16時00分)
参加費	無料

(4) その他

研修詳細や申込方法等の詳細は広島県DX推進コミュニティHPに掲載する

【URL】<https://hiroshima-dx.jp/dx-stepup/>

※令和7年5月26日(月)から公開予定

4 予算額(一部国庫)

5,500千円

※うち新しい地方経済・生活環境創生交付金: 2,750千円

DXステップアップ研修の内容について

コース	回次・日程		研修テーマ
コース1 はじめてのデジタル活用	第1回	令和7年7月17日(木)	デジタル活用の身近な事例(アプリ、キャッシュレス等)について
	第2回	令和7年7月24日(木)	メール、SNS、キャッシュレス決済の基本的な使い方について
	第3回	令和7年7月31日(木)	オンライン学習、検索エンジン、生成AIについて
コース2 デジタルツールを活用した業務改善	第1回	令和7年8月8日(金)	WEB会議の進め方と活用方法について
	第2回	令和7年8月22日(金)	テレワークに必要なデジタルツールと活用方法について
	第3回	令和7年8月29日(金)	ペーパーレス化のメリットと導入方法について
コース3 デジタルツールを活用によるバックオフィスの業務効率化	第1回	令和7年9月11日(木)	バックオフィス業務(会計、給与、勤怠管理等)のデジタル化について
	第2回	令和7年9月18日(木)	会計、給与、勤怠管理業務におけるSaaS ^{※1} の活用について
	第3回	令和7年9月25日(木)	ノーコードツール ^{※2} を活用した業務改善の方法について
コース4 デジタル活用による自社の営業・在庫管理業務等の効率化	第1回	令和7年10月8日(水)	フロント業務(受発注や販売管理、営業支援、配送管理等)のデジタル化について
	第2回	令和7年10月15日(水)	各フロント業務に対応する主要ツールの特徴・活用事例、生成AIの活用事例の紹介及び成果について
	第3回	令和7年10月22日(水)	フロント業務とバックオフィス業務の連携について
	第4回	令和7年10月29日(水)	実践的なデジタル導入のステップと、失敗しないための工夫について

※1 SaaS: Software as a Service の略。ネットワークを通じて、アプリの機能を顧客の必要に応じ提供する仕組み。

※2 ノーコードツール: プログラミングの知識をもたなくても、直感的な操作でアプリなどのソフトウェアを開発することができるツール。